

STUDY

学習面

シラバスを整備

(学習の指針)

 \sim

単元・小テスト

(計画実施・増加)



評価の3期制

(每学期·通知表)

家庭学習の充実

(学習委員会)

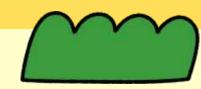


0

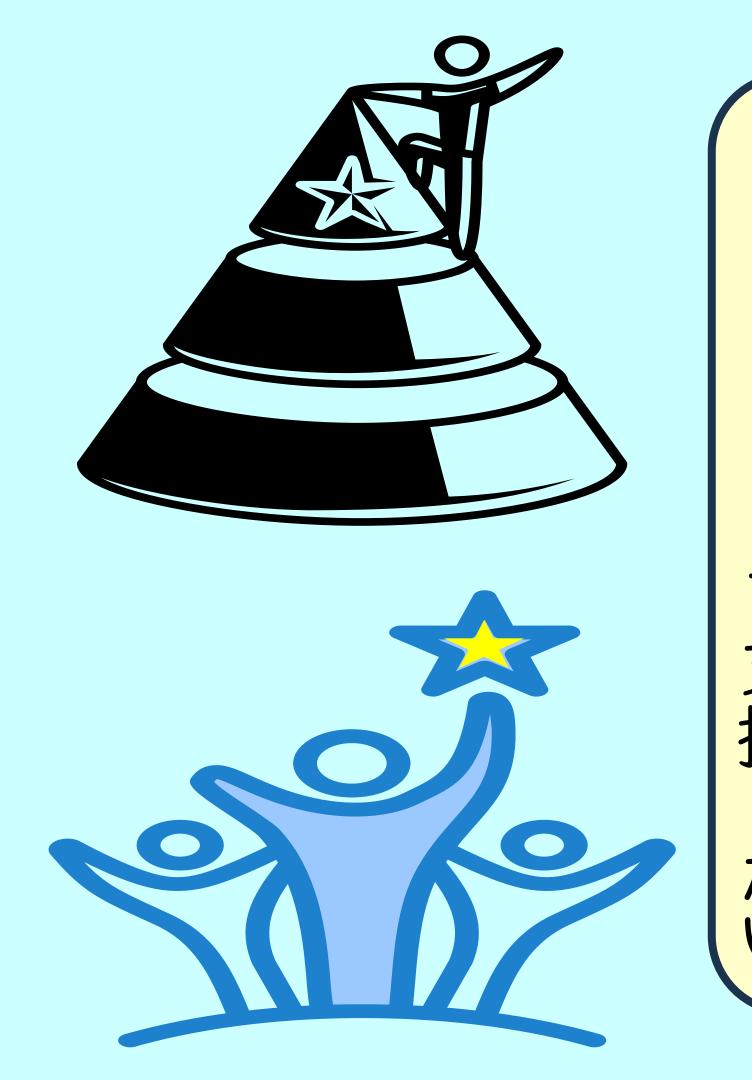
。(毎学期に1回)

通知表+三者面談

(1.2学期末)







台なるの

を支援現た



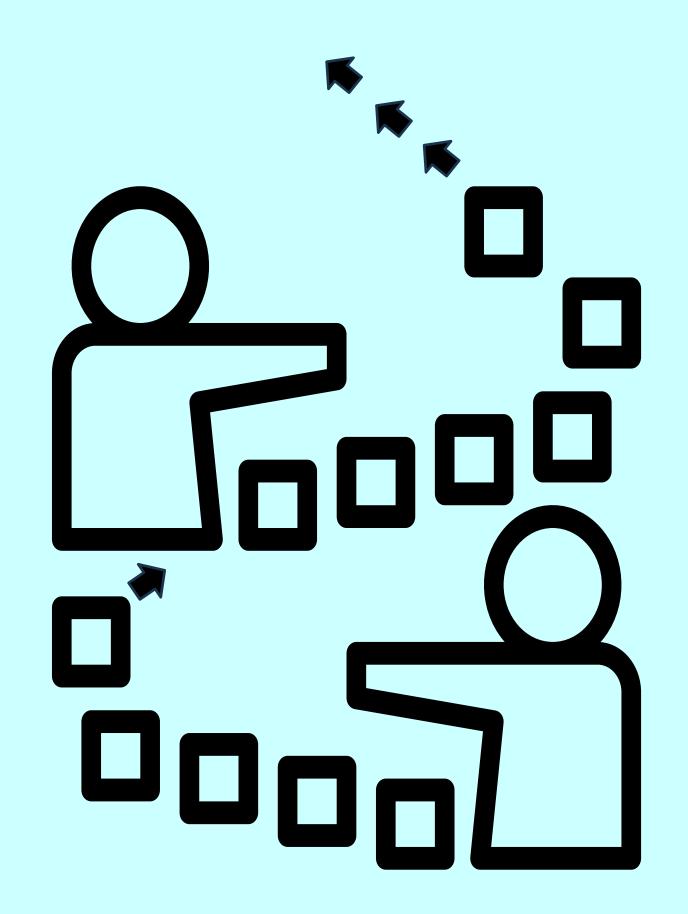




何かを変えるということは、良い点(メリット)もあればマイナスな点(デメリット)もあります

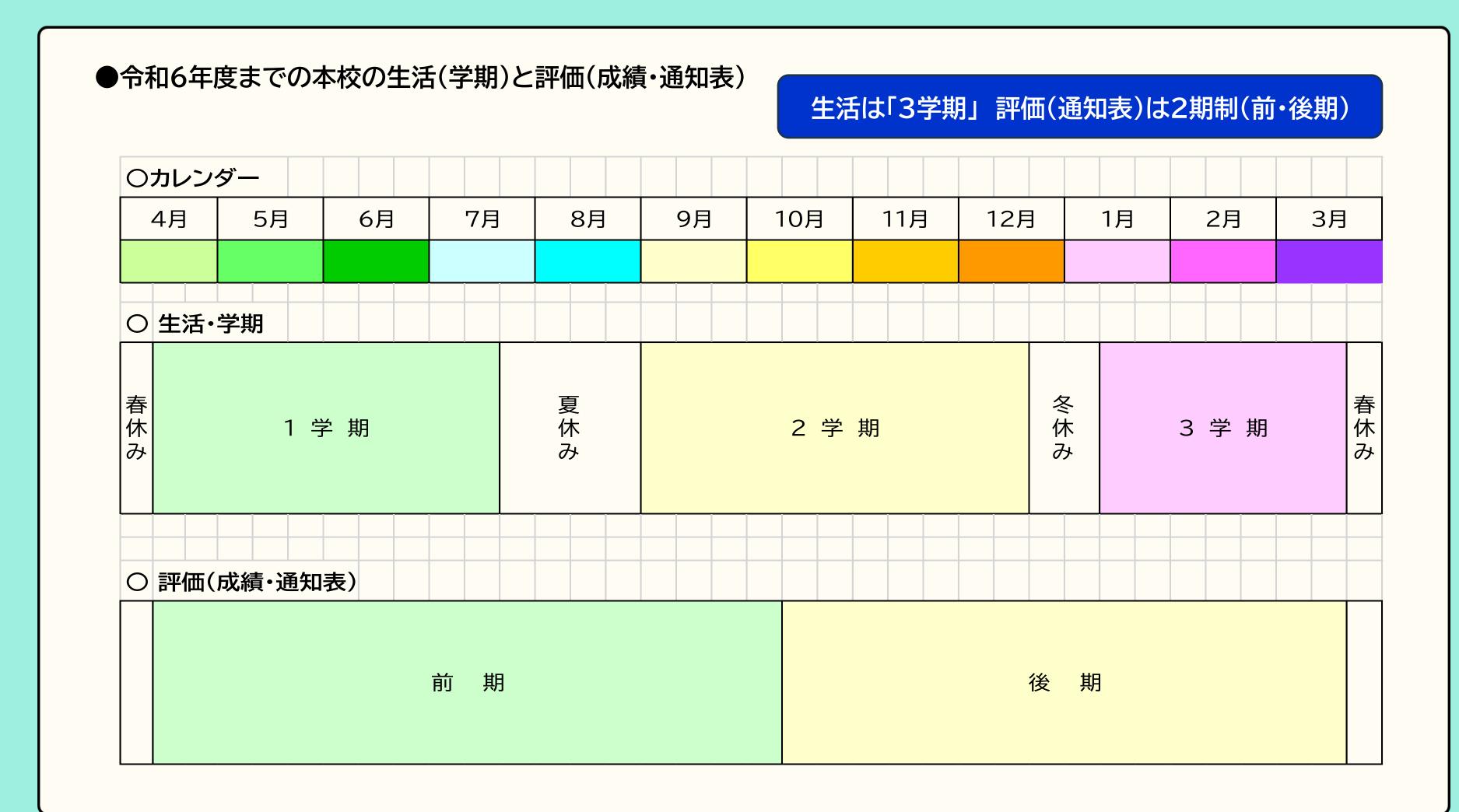
今回の変更には、次のような点を考慮しました

- ・学期と評価(通知表)の時期を合わせて、学習意欲を高めたい
- ・学校生活や学習に見通しや目当てを持たせて、主体的な生活態度を育成したい
- ・長期休業中の計画的な生活を支援したい
- ・部活動の大会、地域行事と定期テストを整理して家庭学習の充実を図りたい



- ·現状
- •課題
- ・変更する内容
- ・期待する点

などについて説明します



●令和6年度までの本校の行事・評価(テスト・通知表) 〇カレンダー 8月 4月 5月 6月 7月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 〇生活·学期 春休 春 夏 休 冬 休 休 1学期 2学期 3学期 終三教関全 コ公三元3卒県修ン立者気年業標了 入郡郷生避体修春郷オ高郡 始郷郡 郡郡文3入県郷郷生郷終 始私 市市化年学新育育徒育業音駅発進説人職漁会正式 学市育徒難育学季育丨校市 業者育東国 業育市 業立 式春田総訓祭旅県地プ説総 ク高面プ生式準式 式面キ大大 式稲新 式高 校談口を入・送 行大引ン明合 楽伝表路明・業業役月 ・季植会練 談ヤ会会 刈人 発大会面会コ人体員飾 会網ス会体 ル入 力 新大え り大 • 入 ひる会 ン講験選作 テ 入会 県プ 談 試 大会 ク話 挙り ス 生 祭 迎 ル しり ボ ラ ○評価(成績・通知表) 前期 後期 実前 実 通 実後 調 実 前 実 後 通 カテ カテ カ 期 カ テ 期 力期 知 力期 力知 查 テ 中 テ期 期 テ表 テ中 · 問 テ 末テ ス ス間 ス ス ス末 ス ス 入 テ トテ | | | | 1 ス ③ ス ⑤ ス 6 試 ス 4 用

▼課題の1つが、「前期期末テスト」の設定

2025

令和7年 9月 カレンダー

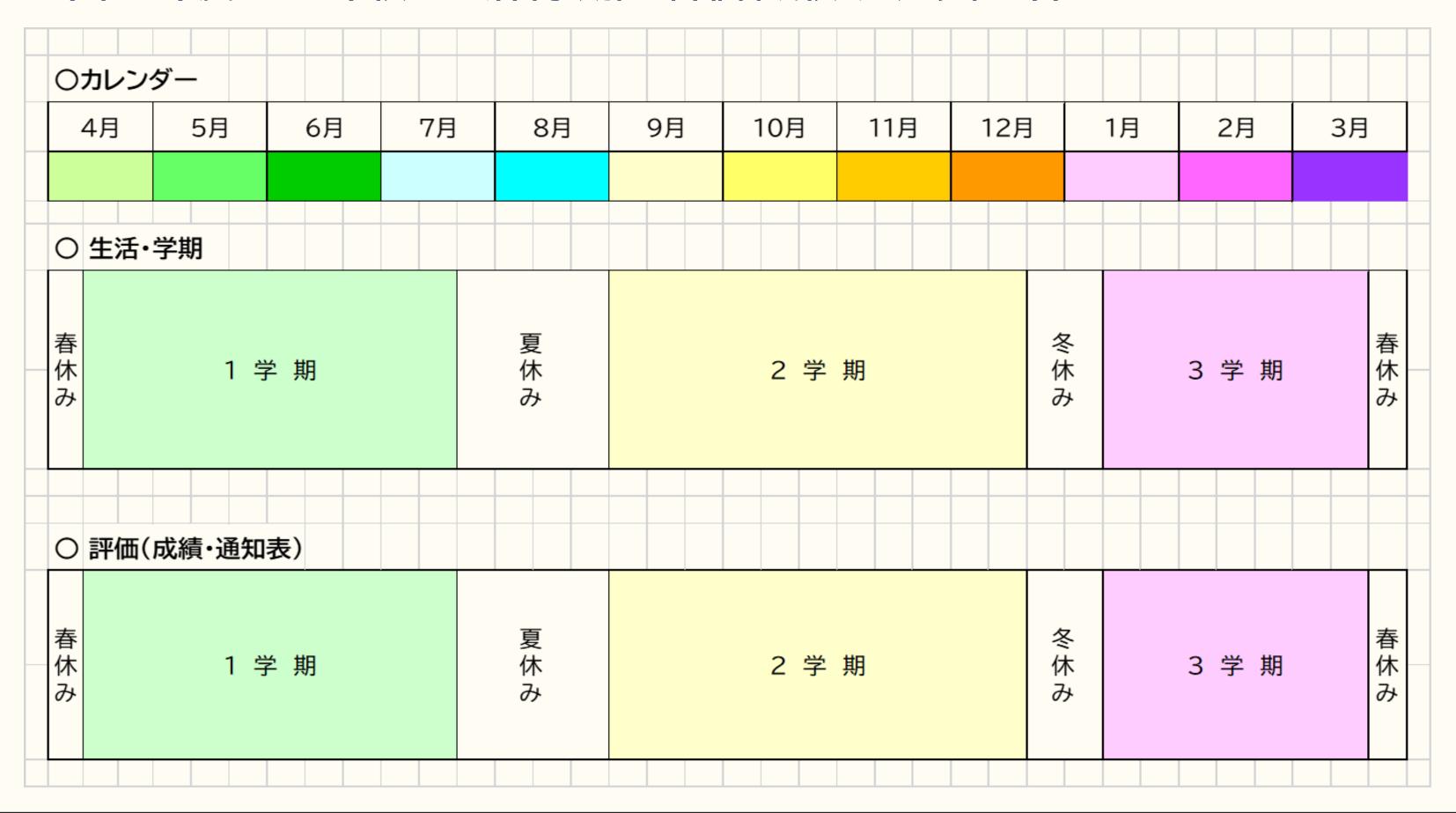
日	月	火	水	木	金	土
	1 *~ ** -*	2	3	4	5	6
7	始業式 8	9	10	11	12	13
					勝浦地区祭 礼 ■	新人・陸上
14	15 敬老の日	16	17	18 <u>₩</u>	19	20
				前期	期末テスト	
21	22	23 秋分の日	24	25	26	27 新人大会 野球
28 新人大会 野球·柔道	29	30	1	2	3	4 新人大会 テニス・剣道

- ・2学期始まって3週目にテスト
- ・学習面に意識が切り替わらない
- ・地区の祭礼をはさむため計画的 な学習には支障がある
- ・テストを遅らせたいが新人大会 がある
- ・体調面で不調になる生徒がいる 夏休みの宿題が終わらない・・・ 定期テストが負担・・・ など

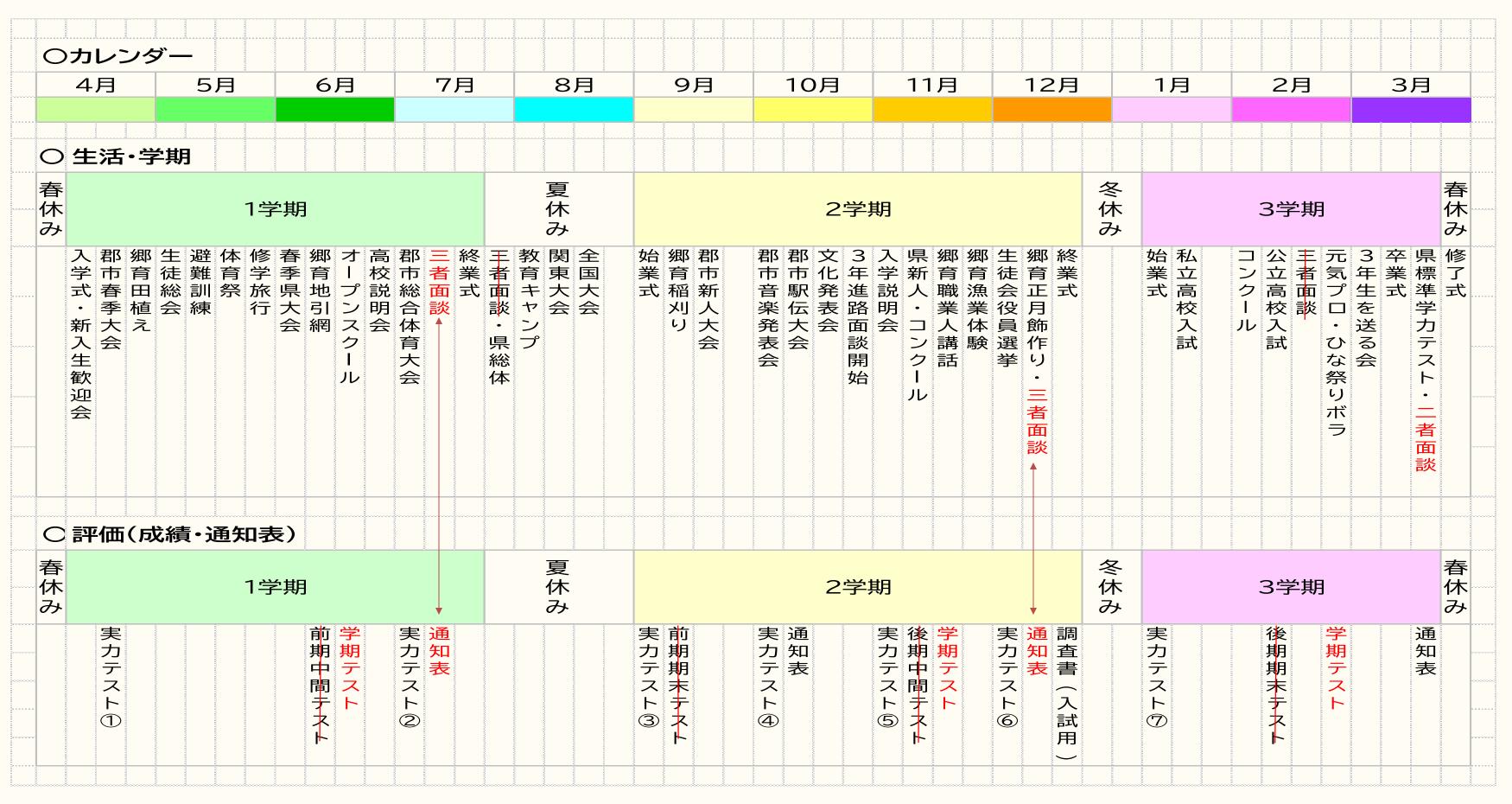
▼こんな実態が・・・ 家庭学習の充実を図る必要がある

	令和7年度	家庭学習状況調査									
	区分		1 年		2 年		3 年				
			7月	12月	比較	7月	12月	比較	7月	12月	比較
		2時間以上	6.5	7.0	0.5	6.8	5.5	-1.3	1.0	14.1	13.1
	平日	1~2時間未満	44.2	42.3	-1.9	37.5	28.6	-8.9	26.5	47.8	21.3
	十口	1時間未満	46.8	47.9	1.1	38.6	44.0	5.4	40.8	29.3	-11.5
		全くしない	1.3	2.8	1.5	17.0	22.0	5.0	31.6	7.6	-24.0
		3時間以上	5.2	4.2	-1.0	5.7	6.6	0.9	2.0	21.7	19.7
	休日	1~3時間未満	59.7	40.8	-18.9	51.1	37.4	-13.7	29.6	48.9	19.3
	INCL	1時間未満	29.9	46.5	16.6	21.6	29.7	8.1	37.8	21.7	-16.1
		全くしない	5.2	8.5	3.3	20.5	26.4	5.9	30.6	7.6	-23.0

●令和7年度から 本校の生活(学期)と評価(成績・通知表)を合わせる



●定期テストは、学期に1回。 単元テスト、小テストの回数を増やす。 三者面談は、生活面、学習面(通知表)



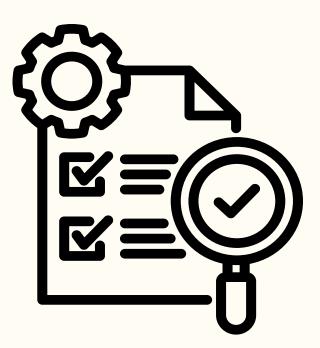


次に

「シラバス」って何?

シラバス(Syllabus)・学びの指針

- ★ シラバスの目的
 - (1)学習内容・進度を明確化し、生徒が見通しを持って計画的に学べるようにする
 - (2)教師が指導計画を整理することで、指導の質を向上させることができる
 - (3)教員間で共通の指針を持つことで、授業の均質化が図れる
 - (4)保護者にも学習の流れを示し、家庭学習のサポートを受けやすくなる
 - → 「何を、どのように学び、どう評価されるのか」を明確にするための重要なツールシラバスは「教える側・学ぶ側・支える側」のすべてにとって有益なツール

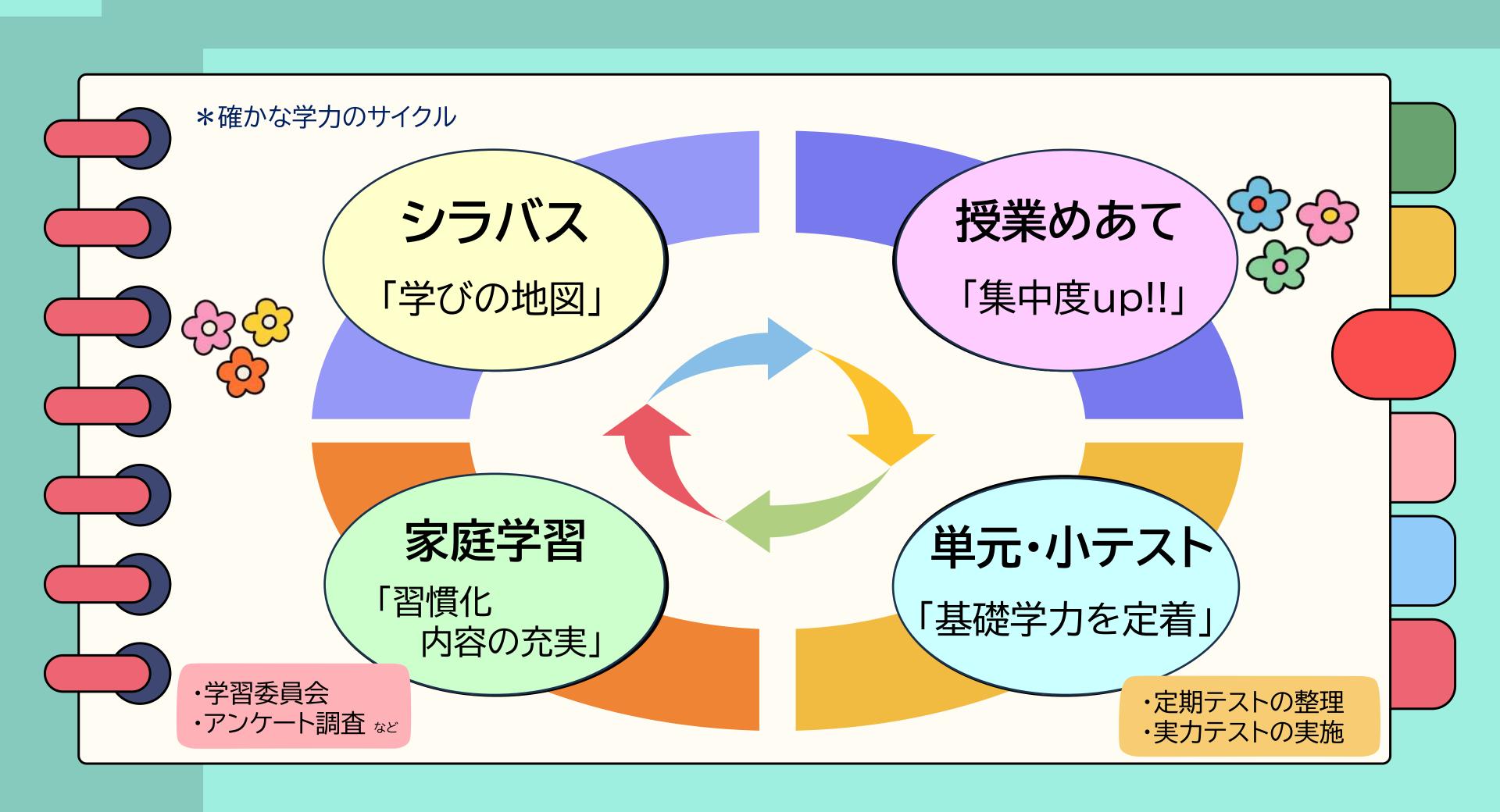


「シラバス」の主な内容

- ★ シラバスの主な内容
 - (1)教科の目標(学年ごとの学習到達目標)
 - (2)学習内容と進度(年間の単元ごとの計画)
 - (3)評価方法(定期考査・単元テスト・提出物などの割合など)
 - (4)学習の進め方(授業の進め方・予習復習のポイント)
 - (5)使用教材(教科書・ワーク・補助教材)
 - (6)定期考査・単元テストの日程、目安
 - (7)宿題・課題の方針

※本校では必要なものを整備します。





勝浦市立勝浦中学校 3学年 英語 学習の指針(シラバス)

1. 学習の目的(教科の目標)

英語を自由に運用する力の素地を養う

- ①生徒が活発に英語を使う
- ②目標を生徒自身が設定し学びに向かう姿勢を養う
- ③国際社会に通用する対話力の向上

2. 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1	•PROGRAM 1 Japanese Bentos	・弁当や食品ロス対策について知る
学	Are Interesting!	・睡眠が生活に与える影響について知る の対話や記
期	·PROGRAM 2 Good Night.	事を読んで、概要や要点を捉えることができる。
	Sleep Tight.	・バスケットボールの歴史や車いすバスケのルールに
	PROGRAM 3 Hot Sport Today Our Project 7	ついて知る
	パラスポーツについて理解を深めよう"	パラリンピックについて学び紹介する
	PRO TENSOR DE CONTROL	・日本の伝統文化の魅力を知る
		・守りたい日本・世界の動物たちについて考える
		・防災安全への関心を高め、地域の一員としての意識
		を持つ
2	·PROGRAM 4 Sign Languages,	・手話について理解し,伝える
学	Not Just Gestures!	・チョコレートの歴史について理解し、伝える。
期	PROGRAM 5 The Story of	海のプラスチックごみの問題について理解し、伝え
	Chocolate	る。
	PROGRAM 6 The Great Pacific	
	Garbage Patch	・1学期に学んだ日本の伝統文化の魅力を伝える
	Our Project 8 SDGs の取り組み	・尊敬する人物について紹介する
	PROGRAM 7	・SDGsについての記事を読み要点をとらえる
	Robots Can Improve Quality of	・論題に対し主張と理由を明確にしたディベートを行
	Life	う
3		・自分の将来の夢についてスピーチを行う
学	Special Project	(気持ちを論理的に詳しく伝える)
期	中学校の思い出を残そう"	・社会的な話題について聞き説明の要点をとらえる

3. 評価

観点	評価の内容	評価の方法		
知識·理解	言語の知識を身につけるとともに、ほか	・予習課題や学習内容に関するレポート		
	の場面でも活用できる程度の概念を理解	・定期テスト(読解、リスニング、語彙、文法問		
	したり、技能を習得したりしているかを評	題)		
	価する	・単元テスト		
		・小テスト(単語、ワーク、文法テスト等)		
		・授業内アセスメント(Accuracy)		
		・従来のリスニングテスト		
		・文法解説		
思考·判断·表	1の知識・技能を活用した課題解決のた	・プロジェクト課題(ポスター、パンフレット		
現	めに必要な思考力・判断力・表現力を身	等)		
	につけているかを評価する	・定期テスト(表現問題)		
	Fig. 1	・単元テスト		
		・授業内アセスメント(スピーチ、プレゼン等)		
		・自由記述、要約、感想、意見等のライテ		
		ィング、リスニング		
主体的に学習	自らの学習状況を把握し、学習を調整し	・プロジェクト課題の取り組みと内容		
に取り組む態	ながら、より良く学ぼうとする姿勢を身	・A、Bノートの取り組みと内容		
度	につけているかを評価する	・授業への参加意欲(自己評価、振り返りシ		
	1,24,24,24	ートの内容も含)		
		・提出物の取り組みと内容		
		・定期テストの振り返り		

^{*}評価に係るテストの配分のめやす:定期テスト50%、単元テスト30%、小テスト20%

※参考資料 松戸市立第五中学校 (一部、追加)

勝浦市立勝浦中学校 3学年 英語 学習の指針(シラバス)

- 1. 学習の目的(教科の目標)
 - 英語を自由に運用する力の素地を養う
 - ①生徒が活発に英語を使う
 - ②目標を生徒自身が設定し学びに向かう姿勢を養う
 - ③国際社会に通用する対話力の向上

2. 学習計画

	学習内容	学習のねらい		
1	•PROGRAM 1 Japanese Bentos	・弁当や食品ロス対策について知る		
学	Are Interesting!	・睡眠が生活に与える影響について知る の対話や記		
期	•PROGRAM 2 Good Night.	事を読んで、概要や要点を捉えることができる。		
	Sleep Tight.	バスケットボールの歴史や車いすバスケのルールに		
	•PROGRAM 3 Hot Sport Today	ついて知る		
	Our Project 7			
	パラスポーツについて理解を深めよう"	パラリンピックについて学び紹介する		
		・日本の伝統文化の魅力を知る		
		・守りたい日本・世界の動物たちについて考える		
		・防災安全への関心を高め、地域の一員としての意識		
		を持つ		

拡大

3. 評価

観点	評価の内容	評価の方法
知識•理解	言語の知識を身につけるとともに、ほか	・予習課題や学習内容に関するレポート
	の場面でも活用できる程度の概念を理解	・定期テスト(読解、リスニング、語彙、文法問
	したり、技能を習得したりしているかを評	題)
	価する	・単元テスト
		・小テスト(単語、ワーク、文法テスト等)
_		・授業内アセスメント(Accuracy)
		・従来のリスニングテスト
		・文法解説
思考·判断·表	1の知識・技能を活用した課題解決のた	・プロジェクト課題(ポスター、パンフレット
現	めに必要な思考力・判断力・表現力を身	等)
	につけているかを評価する	・定期テスト(表現問題)
		・単元テスト
		・授業内アセスメント(スピーチ、プレゼン等)
		・自由記述、要約、感想、意見等のライテ
		ィング、リスニング
主体的に学習	自らの学習状況を把握し、学習を調整し	・プロジェクト課題の取り組みと内容
に取り組む態	ながら、より良く学ぼうとする姿勢を身	・A、Bノートの取り組みと内容
度	につけているかを評価する	・授業への参加意欲(自己評価、振り返りシ
		ートの内容も含)
		・提出物の取り組みと内容
		・定期テストの振り返り

*評価に係るテストの配分のめやす:定期テスト50%、単元テスト30%、小テスト20%

4. 「確かな学力」のためのアドバイス

·Challenging(間違えることを気にせず、挑戦してみる心を持つ)

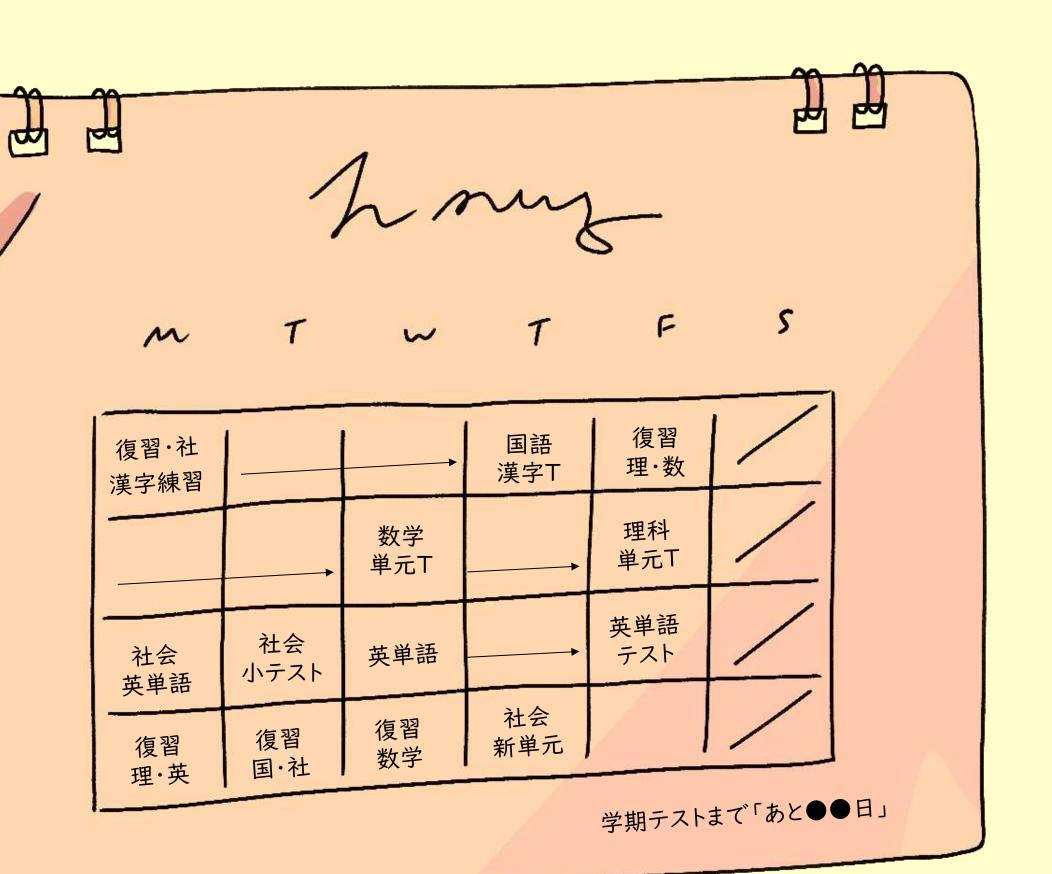
英語は母語ではないので、わからないことがあるのは当たり前。間違ってもよいので、これまで学習してきた英語の知識を用いて、初見の英単語や英文を声に出して読んでみよう。推測して書いてみる等挑戦することが大切です。

- ·Guessing (推測する力をつける)
- これまで学習してきた英語の知識をもとに、英単語から文章の意味を推測する。受験問題等も初見の 英文を読むので、推測力は大切です。
- ·Absorbing(間違えから新たな学びを吸収する力をつける)

間違えても良いが、間違えをそのままにせず、解説を読み正しい答えを知る。そして、自分がどのような間違えをしたのか振り返ることが大切。そうすれば、新しい知識が備わり、さらにわかる英語が増えていくはずです。

·Continuing (学びを継続させ知識の定着をはかる)

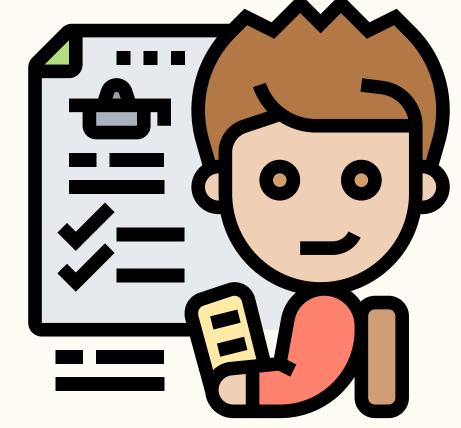
継続学習は、知識の定着をはかることにつながる。その日に習ったことを数日以内に復習すると、記憶としての定着率が上がる。復習学習をくり返し行うことで、学習内容は自分の宝となるはずです。





・目指す「自分」・なりたい「自分」









主体的な取り組み自己実現

■その他の変更点 など

- (1)1·2学期末の通知表の配付に合わせて三者面談を行います。学期の振り返りと共に長期休業中の学習面・生活面の目標を明確にします。
- (2)三者面談の時期は、1学期:7月、2学期:12月、3学期(3月):希望制とします。 3年生については進路の面談を行うため、2学期を希望制、3学期は実施なしとします。
- (3)各教科の授業の中で予習や復習のポイントについて指導します。家庭学習の習慣化や充実 が期待できます。
- (4)生徒会・学習委員会の活動をさらに活発化させます。家庭学習を定着させると共に個別の 学習形態の確立を目指します。
- (5)評価の3期制により、定期テストの回数は1減、通知表の回数は1増となります。 教職員の業務量等を考慮して、通知表の記載内容を一部変更します。 *行動所見は割愛します。総合の記録は通年の1回とします。その他は変更ありません。



